

平成28年度 事業報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福岡

1 事業の成果

平成28年4月から指定管理者として事業受託した福岡市立ひとり親家庭支援センター（以下、センターという）の管理・運営の第3期1年目である。指定期間は平成28年度～平成32年度の5年間である。

新年度から「子育てひろば」を第1日曜に単独で開催し、5時間に延長した。就業支援講習会には介護実務者研修、介護事務、調剤事務など新しい講座を入れ、介護福祉士受験者等に喜ばれた。また、開館時間について、利用が少ない日・祝日は17時半閉館とし、就業相談の日曜の相談時間を拡大した。更に充実したセンターを目指し、職員一同決意を新たにしているところである。ひとり親家庭無料職業紹介事業はセンター事業として継続しているが、紹介件数はさらに減っている。求人はあるが、ひとり親家庭が希望する働きやすい条件のものが少なく、紹介できるものがあまりなかった。

福岡市ひとり親家庭自立支援プログラム策定事業もセンター事業に組み込まれ、28年度も継続している。同事業はきめ細かな伴走型の就業支援であり、制度が周知され、生活保護受給者等就労自立支援事業を使い、マザーズハローワークやハローワークとの連携が強化された。

子育て支援事業のメインイベントである夏休みバスハイクは、国民宿舎いろは島に行き、親子で海水浴や温泉を楽しんだ。国際ソロプチミスト福岡中央より寄付金をいただいているので、貸し切りバスを利用し、車内や食事会場では参加者どうしの交流が図られた。

センターで実施して5年目となる「夏休み学習教室」は、九州大学を中心に5つの大学の学生ボランティアが講師となり、小学校4年生から6年生までの7名がいきいきと通っていた。

10回目となる「劇団風の子」観劇会は、「福岡市母子福祉会芙蓉基金」ひとり親家庭等福祉振興助成事業の助成金を受けて実施した。劇団風の子中部が「たっだいま～のいってきま～す」を上演し、まっぼっくりと女の子の冒険の劇を親子で楽しんだ。上演後におてらおやつクラブから提供された品々で福引を楽しみ、お土産にロールケーキを各家庭に1本渡して喜ばれた。

恒例の花見は桜の開花が遅く、4月に実施。お弁当の後は、新しいメンバーの自己紹介や近況報告を行った。

福岡市男女共同参画推進センター・アミカスの市民グループ活動支援事業は「ひとり親に役立つ対話のヒント～あなたが変われば相手も変わる～」を開催した。なかよしな人間関係を提唱している長阿彌幹生さんを講師に迎え、コミュニケーションについて学ぶ講演会のあと、グループワークを行った。コミュニケーションを邪魔するのは、「怒り」「不安」「不満」なので、自分の考え方の癖や思い込みに気づくことが大事。「自分は正しい」という自己過信を自覚し、何に気分を害しているのか「ムカつきカレンダー」に記録することを勧められた。参加者から「子どもの話をもっとよく聞いてあげようと思った。」「脳を鍛えることによって、少しずつ自分の考え方、思い方をコントロールできることが分かった」などの感想が聞かれた。

3月4日、3月5日に「ひとり親サポーター養成講座」をしんぐるまざあず・ふぉーらむの助成金事業の中で開催した。大阪や東京では相談員養成講座が実施されているが、九州から参加するには時間も費用も大変なので、交通の要である福岡市で九州ブロックとして開催することになった。朝9時半～17時までぎっしり詰まったカリキュラムであったが、離婚の法律、DV被害者支援、ひとり親の現状と支援策、メンタル支援、学習支援など幅広い知識と方策を得られ、参加者の満足度が高いセミナーとなった。行政や民間の相談業務に当たっている人、子どもの支援に当たっている人、ひとり親当事者など多方面の人が、宮崎、鹿児島、佐賀、長崎、山口など遠方からも参加された。

ゆるやかなネットワークであるシングルマザー全国連絡協議会の年1回の会議が、福岡で開催された。いつもは一人の参加だが、メンバー数名も意見交換に参加した。各地の活動報告に続き、日常生活支援事業を取り上げたDVDを見て、制度があっても利用しにくい現状を再認識した。

翌日は博多区にある一般社団法人ストリート・プロジェクト「ごちハウス」を見学し、若者の居場所作りに取り組んでいる坪井さんの話を聞いた。

来年度以降の事業のため、フードバンク福岡を支援する会、非正規フォーラム、公益社団法人あすのばの会議や研修に参加し、意見交換や研修などで得たものを団体にフィードバックした。

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施時期	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び参加人数	支出額 (千円)
就労支援事業	福岡市立ひとり親家庭支援センターの無料職業紹介事業を受託	平成28年4月～平成29年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	2人	福岡市内のひとり親、寡婦	0

事業名	事業内容	実施時期	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び参加人数	支出額 (千円)
相談事業	当事者による離婚、生活相談	平成28年4月～平成29年3月	当会事務所	1人	主としてひとり親 6人	0
セミナー事業	ひとり親に役立つ対話のヒント	平成28年10月10日	福岡市男女共同参画推進センター・アミカス	5人	主としてひとり親 14人	33
	シングルマザーのライフプラン	平成28年11月20日	福岡市立ひとり親家庭支援センター	1人	福岡市内のひとり親 18人	8
	ひとり親サポーター養成講座	平成29年3月4日～3月5日	福岡市健康づくりサポートセンター	5人	九州、山口のひとり親支援者 46人	444
出版事業	母子家庭に関する会報の発行	年4回(6月、9月、12月、3月)	当会事務所	4人	購読者 100人	59
子育て支援事業	リフレッシュ事業 夏のバスハイク	平成28年7月24日	佐賀県唐津市 国民宿舎いろは島	2人	ひとり親と子ども 46人	192
	夏休み学習支援	平成28年8月18日～8月25日	福岡市立ひとり親家庭支援センター	2人	ひとり親家庭の子ども 7人	14
	劇団風の子観劇会	平成29年2月5日	すのこ公民館	3人	ひとり親と子ども 44人	213
	花見	平成29年4月2日	福岡市舞鶴公園	2人	ひとり親と子ども 26人	31
調査・研究事業	「中高年シングル女性の生活状況アンケート調査」に協力	平成28年10月	当会事務所	2人	福岡市内のひとり親、寡婦 25人	0
福祉事業	提供された物品の配布(おてらおやつクラブ、カタログハウス、フードバンク福岡、西日本新聞民生事業団、㈱ドラゴンゲート)	平成28年4月～平成29年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	5人	福岡市内のひとり親、寡婦 200人	0
他団体の事業受託	福岡市立ひとり親家庭支援センターの管理・運営	平成28年4月～平成29年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	5人	福岡市内のひとり親、寡婦 9,895人	48,476
他団体の事業受託	平成28年度福岡市ひとり親家庭等日常生活支援事業	平成28年4月～平成29年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	5人	福岡市内のひとり親、寡婦 51人	364
その他法人の目的達成の為の事業	フードバンクを支援する会月例会に参加	平成28年10月～平成29年2月	福岡市ふくふくプラザ	1人	福岡県内の支援者 20人	8
その他法人の目的達成の為の事業	非正規フォーラム集會に賛同 非正規フォーラムヒアリング	平成28年12月2日 平成28年12月4日	福岡市都久志会館 あいれふ	2人	福岡県内の支援者 250人	11
その他法人の目的達成の為の事業	あすのば子どもの貧困対策レベルアップ研修會に参加	平成29年2月17日～2月19日	神奈川県川崎市 青少年の家	1人	全国の支援者 60人	14
その他法人の目的達成の為の事業	しんぐるまざあず・ふぉーらむ 全国連絡協議會	平成28年6月25日～6月26日	福岡市 (休暇村志賀島)	4人	当事者団体従事者 11人	46